

基本特性

自分自身が理想とする挑戦的で大きな目標を決め、その実現に向かって自力の努力を大切にしている状態です。この状態にある時、行動は勤勉、厳密であり、物事に理性的、冷静に取り組む姿を好み逆に感情的な姿勢を嫌います。創り出す結果についても、完全さや完璧である事が大切だと感じ、自分も人として完成度の高さを求め努力します。自分が決めた目標を実現する事や、人としての約束を守る為には、時間を惜しまず忍耐力を発揮し成遂げようとします。人間関係においては、公平さや平等さを重んじ、誰に対しても常にフェアに接することを大切にします。また、周囲の人々に対しても、完全さや完璧さを要求するため、自分の基準に適さない人々に対しては不満を持ちがちです。迅速さよりも確実性を重視する志向が強くなるため、時間が限られた事柄の遂行にストレスを感じやすくなります。今の状態は、自分の経験や価値観に自信を持っており、これらの経験や実績を拠り所に、着実に前進しようとしています。

優れている面

責任感や使命感が強く機能している状態です。物事を最後まで粘り強く、確実にやりぬく忍耐と克己心が発揮されます。正確な事、正しい事を実現するという意志が強く、したがって、確実に質の高い成果を創り出します。正義感が強く、嘘、偽り、ごまかしを嫌います。礼儀正しい振舞いを身に付け、人に対しては誠実さを示します。判らないことや、知らない事を放置せず、常に明快で完全な答えを求めようとする厳密さを持っているため、現在のあなたの言動には、高い信頼を置く事が出来ます。他者のために役に立ちたいと言う意志を常に持ってしており、また、それを具体的に実践する行動力があります。精神的に強く、困難な状況や予想外の事に対しても気持ちの動揺を制御し冷静、適切に行動を取ることが出来ます。

注意すべき面

この状態は、思考傾向が断定的、独断的に過ぎる場合があります、柔軟な思考を行い難くなります。自分の理想と現実のギャップで、内面に不平不満や他者への批判を溜めやすい時でもあり、潜在的イライラ感を持ち続ける傾向があります。自分の考えや価値観を人に押し付ける恐れがあり、特に、自分より立場が下だと思う人に対しその傾向が表れます。人のアドバイスや進言に対し懐疑的な面や批判的な見方が先行し、考えを柔軟に変化させる事が、今は、苦手です。このような周りに対する頑固さや不平不満の蓄積、常時ストレスを感じる傾向は、自分自身の今現在の幸福を実感する事の妨げとなり、努力や熱意の割には、自分自身が実感できる充実感や、満足感が得られない心境になりがちです。時間についても、行うべき事が多すぎ常に時間がない状況で、人生全般が心理的に慌しくなりがちです。

思考傾向分析

正義感が強く、判断の基準にしばしば、「正しい」「間違い」または、「善」「悪」を用います。それらの基準は、自分評価へも適用され、自分は常に正しくなければならないという思いを強化します。今現在、「正しき」は、重要な判断基準のひとつです。特に理性的である事が正しく、感情的な人は正しくないと考えます。自分の感情、とりわけ、怒りや、不平不満といったネガティブな感情を表に出すことを避けようとします。否定的な感情を表に出す事を潜在的に抑えた結果、慢性的に周りからのストレスにさらされやすい状況が生まれます。思考傾向が、本来、理想を目指す肯定的な意欲に基づいていながら、心理的には、周りに対するネガティブな感情を感じやすいのはそのためです。改めて、自分自身の価値基準を意識する事で本来の良い状態を回復しやすくなります。

行動傾向分析

現在の行動の傾向は、慎重で着実です。準備や、配慮を怠らず、綿密で、確実な計画や過程を用意し、実行します。やるからには、完全、または、完璧でなければならないと思います。完全、完璧は、あなたが行動したり、その結果として、手にする成果を評価する際の現在の重要な評価基準のひとつです。自分が決めた通り・・・計画通り・・・に、といったように、「自分流」にこだわる傾向があります。慎重さは、他方で、「石橋を叩いてばかりで渡らない」傾向があります。部分、部分に意識が囚われ、全体を見通す大局的な行動を失いがちです。否定的な思考からの行動は頑固でかたくなな傾向を持ちがちです。注意しましょう。

更なる自己活用のための提言

厳格さのみを求めるのではなく、加えて、楽観的に思考するように試みてみましょう。特に、自分自身の多少の欠点について寛容な気持ちで受入れる事が大切です。寛容さは、あなたの視野を広げ、より安定した心境を創造します。自分自身や自分の人生を肯定的にイメージするように心がけ、先の準備ばかりでなく、今、現在の瞬間瞬間を楽しむようになるでしょう。それは、あなたの持ち前の忍耐力や行動力をより大きな成果に結びつける上で効果的でしょう。厳密さをも持ちながら、そもそも人は、おおむね不完全な存在であるという事を受け入れる寛容さを持つ事で思考や視野の幅を広げる事が出来、その分、気持ちにゆとりを持つ事が出来ます。本来努力家で勤勉なあなたにとって、何事に取組むためにも気持ちに肯定的(楽観的)ゆとりを持てるようになる事は更なる自己活用の点で大変良い事です。